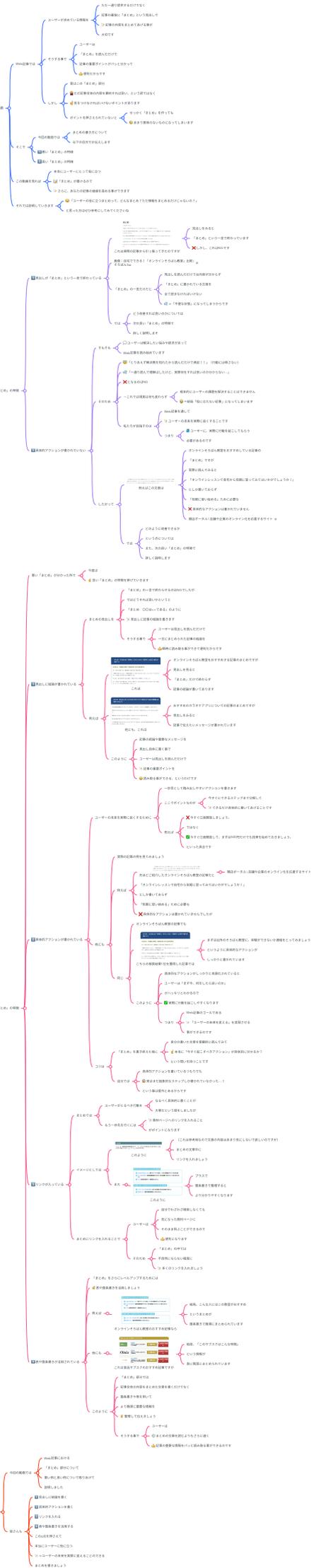


本当にユーザーの役に立つ「良い」の書き方



本当にユーザーの役に立つ「まとめ」の書き方

1. 今回の話題

1.1. Web記事では

1.1.1. ユーザーが求めている情報を

- 1.1.1.1. ただ一通り提供するだけでなく
- 1.1.1.2. 記事の最後に「まとめ」という見出しで
- 1.1.1.3. 記事の内容をまとめてあげる事が
- 1.1.1.4. 大切です

1.1.2. そうする事で

- 1.1.2.1. ユーザーは
- 1.1.2.2. 「まとめ」を読んだだけで
- 1.1.2.3. 記事の重要ポイントがパッと分かって
- 1.1.2.4. 便利だからです

1.1.3. しかし

- 1.1.3.1. 実はこの「まとめ」部分
- 1.1.3.2. ただ記事全体の内容を要約すれば良い、という訳ではなく
- 1.1.3.3. 気をつけなければいけないポイントがあります
- 1.1.3.4. ポイントを押さえられていないと
 - 1.1.3.4.1. せっかく「まとめ」を作っても
 - 1.1.3.4.2. あまり意味のないものになってしまいます

1.2. そこで

1.2.1. 今回の動画では

- 1.2.1.1. まとめ書き方について
- 1.2.1.2. 以下の目次でお伝えします

1.2.2. 悪い「まとめ」の特徴

1.2.3. 良い「まとめ」の特徴

1.3. この動画を見れば

- 1.3.1. 本当にユーザーにとって役に立つ
- 1.3.2. 「まとめ」が書けるので
- 1.3.3. さらに、あなたの記事の価値を高める事ができます

1.4. それでは説明していきます

1.4.1. 「ユーザーの役に立つまとめって、どんなまとめ？ただ情報をまとめるだけじゃないの？」

1.4.2. と思った方はぜひ参考にしてみてくださいね

2. 悪い「まとめ」の特徴

2.1. 見出しが「まとめ」という一言で終わっている

2.1.1. これは実際の記事から引っ張ってきたのですが

- 2.1.1.1. 見出しをみると
- 2.1.1.2. 「まとめ」という一言で終わっています
- 2.1.1.3. しかし、これはNGです

2.1.2. 画像：自宅でできる！「オンラインそろばん教室」比較 | そろばんToz

リンク: <https://toz.net/%E8%87%AA%E5%AE%85%E3%81%A7%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%82%8B%EF%BC%81%E3%80%8C%E3%82%AA%E3%83%B3%E3%8>

2.1.3. 「まとめ」の一言だけだと

- 2.1.3.1. 見出しを読んだだけでは内容が分からず
- 2.1.3.2. 「まとめ」に書かれている文章を
- 2.1.3.3. 全て読まなければいけない

2.1.3.4. = 「不便な状態」になってしまうからです

2.1.4. では

2.1.4.1. どう改善すれば良いのかについては

2.1.4.2. 次の良い「まとめ」の特徴で

2.1.4.3. 詳しく説明します

2.2. 具体的アクションが書かれていない

2.2.1. そもそも

2.2.1.1. ユーザーは解決したい悩みや欲求があって

2.2.1.2. Web記事を読み始めています

2.2.2. そのため

2.2.2.1. 「とりあえず解決策を知れたから読んだだけで満足！！」（行動には移さない）

2.2.2.2. 「一通り読んで理解はしたけど、実際何をすれば良いのか分からない…」

2.2.2.3. となるのはNG

2.2.2.4. →これでは現実は何も変わらず

2.2.2.4.1. 根本的にユーザーの課題を解決することはできません

2.2.2.4.2. =結局「役に立たない記事」になってしまいます

2.2.2.5. 私たちが目指すのは

2.2.2.5.1. Web記事を通して

2.2.2.5.2. ユーザーの未来を実際に良くすることです

2.2.2.5.3. つまり

2.2.2.5.3.1. ユーザーに、実際に行動を起こしてもらう

2.2.2.5.3.2. 必要があるのです

2.2.3. したがって

2.2.3.1. 例えばこの文章は

2.2.3.1.1. オンラインそろばん教室をおすすめしている記事の

2.2.3.1.2. 「まとめ」ですが

2.2.3.1.3. 実際に読んでみると

2.2.3.1.4. 「オンラインレッスンで自宅から気軽に習ってみてはいかがですか！」

2.2.3.1.5. としか書いておらず

2.2.3.1.6. 「気軽に習い始める」ために必要な

2.2.3.1.7. 具体的なアクションは書かれていません

2.2.3.1.8. 開店ポータル | 店舗や企業のオンライン化を応援するサイト

リンク: <https://kaiten-portal.jp/media/column/special/online-abacus-school/>

2.2.3.2. では

2.2.3.2.1. どのように改善できるか

2.2.3.2.2. という点については

2.2.3.2.3. また、次の良い「まとめ」の特徴で

2.2.3.2.4. 詳しく説明します

3. 良い「まとめ」の特徴

3.1. 悪い「まとめ」が分かった所で

3.1.1. 今度は

3.1.2. 良い「まとめ」の特徴を挙げていきます

3.2. 見出しに結論が書かれている

3.2.1. まよめの見出しを

3.2.1.1. 「まとめ」の一言で終わらせるのはNGでしたが

3.2.1.2. ではどうすれば良いかという

3.2.1.3. 「まとめ ○○は××である」のように

3.2.1.4. 見出しに記事の結論を書きます

3.2.1.5. そうする事で

3.2.1.5.1. ユーザーは見出しを読んだだけで

3.2.1.5.2. 一文にまとめられた記事の結論を

3.2.1.5.3. 瞬時に読み取る事ができて便利だからです

3.2.2. 例えば

3.2.2.1. これは

3.2.2.1.1. オンラインそろばん教室をおすすめする記事のまとめですが

3.2.2.1.2. 見出しを見ると

3.2.2.1.3. 「まとめ」だけで終わらず

3.2.2.1.4. 記事の結論が書いてあります

3.2.2.2. 他にも、これは

3.2.2.2.1. おすすめのカラオケアプリについての記事のまとめですが

3.2.2.2.2. 見出しをみると

3.2.2.2.3. 記事で伝えたいメッセージが書かれています

3.2.2.3. このように

3.2.2.3.1. 記事の結論や重要なメッセージを

3.2.2.3.2. 見出し自体に書く事で

3.2.2.3.3. ユーザーは見出しを読んだだけで

3.2.2.3.4. 記事の重要ポイントを

3.2.2.3.5. 読み取る事ができる、というわけです

3.3. 具体的アクションが書かれている

3.3.1. ユーザーの未来を実際に良くするために

3.3.1.1. 一歩目として踏み出しやすいアクションを書きます

3.3.1.2. ここでポイントなのが

3.3.1.2.1. 今すぐのできるステップまで分解して

3.3.1.2.2. できるだけ具体的に書いてあげることです

3.3.1.3. 例えば

3.3.1.3.1. 今すぐ口座開設しましょう。

3.3.1.3.2. ではなく

3.3.1.3.3. 今すぐ口座開設して、まずは500円だけでも投資を始めておきましょう。

3.3.1.3.4. といった具合です

3.3.2. 他にも

3.3.2.1. 実際の記事の例を見てみましょう

3.3.2.2. 例えば

3.3.2.2.1. 先ほどご紹介したオンラインそろばん教室の記事だと

3.3.2.2.1.1. 開店ポータル | 店舗や企業のオンライン化を応援するサイト

リンク: <https://kaiten-portal.jp/media/column/special/online-abacus-school/>

3.3.2.2.2. 「オンラインレッスンで自宅から気軽に習ってみてはいかがですか！」

3.3.2.2.3. としか書いておらず

3.3.2.2.4. 「気軽に習い始める」ために必要な

3.3.2.2.5. 具体的なアクションは書かれていませんでしたが

3.3.2.3. 同じ

3.3.2.3.1. オンラインそろばん教室の記事でも

3.3.2.3.2. こちらの検索結果1位を獲得した記事では

3.3.2.3.2.1. まずは近所のそろばん教室に、体験ができないか連絡をとってみましょう

3.3.2.3.2.2. というように具体的なアクションが

3.3.2.3.2.3. しっかりと書かれています

3.3.2.3.3. このように

3.3.2.3.3.1. 具体的なアクションがしっかりと言語化されていると

3.3.2.3.3.2. ユーザーは「まず今、何をしたら良いのか」

3.3.2.3.3.3. がハッキリとわかるので

3.3.2.3.3.4. 実際に行動を起こしやすくなります

3.3.2.3.3.5. つまり

3.3.2.3.3.5.1. Web記事のゴールである

3.3.2.3.3.5.2. 「ユーザーの未来を変える」を実現させる

3.3.2.3.3.5.3. 事ができるのです

3.3.3. コツは

3.3.3.1. 「まとめ」を書き終えた後に

3.3.3.1.1. 自分の書いた文章を客観的に読んでみて

3.3.3.1.2. 本当に「今すぐ起こすべきアクション」が具体的に分かるか？

3.3.3.1.3. という問いを持つことです

3.3.3.2. 自分では

3.3.3.2.1. 具体的アクションを書いているつもりでも

3.3.3.2.2. 実はまだ抽象的なステップしか書かれていなかった...！

3.3.3.2.3. という事は意外とあるからです

3.4. リンクが入っている

3.4.1. まとめでは

3.4.1.1. ユーザーがとるべき行動を

3.4.1.1.1. なるべく具体的に書くことが

3.4.1.1.2. 大事だという話をしましたが

3.4.1.2. もう一步先に行くには

3.4.1.2.1. 商材ページへのリンクを入れること

3.4.1.2.2. がポイントになります

3.4.2. イメージとしては

3.4.2.1. このように

3.4.2.1.1. (これは参考用なので文章の内容はあまり気にしないで欲しいのですが)

3.4.2.1.2. まとめの文章中に

3.4.2.1.3. リンクを入れましょう

3.4.2.2. また

3.4.2.2.1. このように

3.4.2.2.1.1. プラスで

3.4.2.2.1.2. 箇条書きで整理すると

3.4.2.2.1.3. より分かりやすくなります

3.4.3. まとめにリンクを入れることで

3.4.3.1. ユーザーは

3.4.3.1.1. 自分でわざわざ検索しなくても

3.4.3.1.2. 気になった商材ページに

3.4.3.1.3. そのまま飛ぶことができるので

3.4.3.1.4. 便利になります

3.4.3.2. そのため

3.4.3.2.1. 「まとめ」の中では

3.4.3.2.2. 不自然にならない程度に

3.4.3.2.3. 多くのリンクを入れましょう

3.5. 表や箇条書きが活用されている

3.5.1. 「まとめ」をさらにレベルアップするためには

3.5.2. 表や箇条書きを活用しましょう

3.5.3. 例えば

3.5.3.1. オンラインそろばん教室のおすすめ記事なら

3.5.3.1.1. 結局、こんな人にはこの教室がおすすめ

3.5.3.1.2. というまとめが

3.5.3.1.3. 箇条書きで簡潔にまとめられています

3.5.4. 他にも

3.5.4.1. これは食品サブスクのおすすめ記事ですが

3.5.4.1.1. 結局、「このサブスクはこんな特徴」

3.5.4.1.2. という情報が

3.5.4.1.3. 表に簡潔にまとめられています

3.5.5. このように

3.5.5.1. 「まとめ」部分では

3.5.5.2. 記事全体の内容をまとめた文章を書くだけでなく

3.5.5.3. 箇条書きや表を用いて

3.5.5.4. より簡潔に重要な情報を

3.5.5.5. 整理して伝えましょう

3.5.5.6. そうする事で

3.5.5.6.1. ユーザーは

3.5.5.6.2. まとめの文章を読むよりもさらに速く

3.5.5.6.3. 記事の重要な情報をパッと読み取る事ができるのです

4. まとめ

4.1. 今回の動画では

4.1.1. Web記事における

4.1.2. 「まとめ」部分について

4.1.3. 悪い例と良い例について取りあげて

4.1.4. 説明しました

4.2. 皆さんも

4.2.1. 見出しに結論を書く

4.2.2. 具体的アクションを書く

4.2.3. リンクを入れる

4.2.4. 表や箇条書きを活用する

4.2.5. この4点を押さえて

4.2.6. 本当にユーザーに役に立つ

4.2.7. =ユーザーの未来を実際に変えることのできる

4.2.8. まとめを書きましょう